

						R5年度 医学科 学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー (DP)) (◎=DP達成のために、特に重要な事項)															
						医療人としての適切な判断力・行動力		コミュニケーション能力		問題解決・自己研鑽能力		知識を統合し活用する能力		臨床能力(知識・技能・態度を統合し活用する能力)		研究への志向力		グローバル化への志向力		地域医療への志向力	
時間割コード(7桁)	授業科目	履修学年	学年	前期	後期	GIO(一般目標)、学修目標	SBO(行動目標)、学修成果(到達目標)	1.豊かな人間性、幅広い教養と高い倫理観に基づいて物事を判断し、行動することができる。	2.生命の尊厳及び患者の権利と人格尊重の重要性を理解し、また、医師の義務や規則を遵守して行動することができる。	3.医療安全の重要性を理解し、また、医師の義務や規則を遵守して行動することができる。	4.医療人に必要なコミュニケーション能力を理解し、相互尊重し行動することができる。	5.多職種連携のチーム医療を理解し、相互尊重し行動することができる。	6.未知の課題に対して、自ら積極的に解決を図ることができる。	7.生涯にわたる自己研鑽に励むことができる。	8.基礎医学、社会医学及び臨床医学で修得した知識を統合し、医学・医療に関する事象を幅広く視野で考えることができる。	9.修得した医学の知識をもとに、患者の病態から治療・ケアのアプローチまで概説することができる。	10.基本的な知識、技能、態度を身に付け、患者を総合的に診察・診療することができる。	11.研究心(リサーチマインド)を持って、真理を探究し、未知の分野を切り拓くことができる。	12.海外の医療や異文化を理解し、グローバルな視点で物事を判断し行動することができる。	13.地域医療が抱える諸問題に対して積極的に取組もうとすることができる。	
116401J	総合診療・地域医療	3年			30時間	総合診療・地域医療コースでは、生涯学習として必要なスキルである自己主導型学習を学び、それを実践するために、Problem-based-Learning形式での学習を行う。臨床実習、初期研修に個人だてに活用できる一般的な能力の取得につながる教育を提供する。内容としては、問診から始まる初期診療の組み立ての学習が中心となる。日常診療で多い症候に対して鑑別診断を挙げ、その仮説を修正しながら考えていく思考プロセスを身につける。	1.問診、身体所見、検査所見から診断に導く初期診療の組み立てを理解し、基本的診療計画立案ができる。 2.病歴を聴取できる。 3.患者の疾患・病い・健康観を理解する事について知識を有する。患者の疾患・病い・健康観を統合して理解する事について知識を有する。患者のコンテキストを理解する事について知識を有する。 4.臨床推論について説明できる。 5.血液検査、尿検査の基準範囲の意義を理解し、測定誤差の原因を説明できる。 6.日常診療で多い症候(発熱、咳、腹痛、頭痛、胸痛)について、鑑別診断を説明できる。 7.一般的な身体診察法(基本的な流れ、バイタルサインの解釈)についての知識を有する。 8.一般的な身体診察法(胸部の聴診)の結果を解釈できる。 9.疑問を調べる際の適切な方法を説明できる。 10.論文を読むための基本的な型を理解する。 11.疑問を調べる際の基本的な医学英語を理解できる。 12.在宅医療で行う範囲、在宅医療の価値・意義について、患者の自己実現支援という観点から理解する。 13.介護保険制度の概要について知識を得る。介護保険制度において、医師は主治医意見書を作成する必要がある事を理解する。 14.主治医意見書の記載方法、ADLレベル、認知症レベルの判定方法について理解する。介護保険制度における介護サービスの種類、内容、適応について知識を得る。 15.総合診療及び総合診療医の役割について説明できる。						1	2	3	1	2		2		
116403J	消化器	3年			90時間	消化器系の正常構造と機能を理解し、主要な消化器疾患の病態生理、原因、症候、診断、鑑別診断と治療を学ぶ。	1.消化器系各臓器の構造と機能を理解する。 2.主な消化器疾患の原因、病態、症候、診断、治療、疫学について理解する。 3.消化器疾患の主な検査法の特徴を理解する。 4.消化器系の救急疾患に対する対応法を理解する。 5.消化器疾患の病理についてその特徴を理解する。	2	2	2	2	2	3	2	2	2	1	2	2	2	
116404J	内分泌・代謝・乳腺	3年			60時間	内分泌・代謝系の構造と機能を理解し、主な内分泌・代謝疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療を学ぶ。	1)構造と機能 ①ホルモンの構造、作用機序と分泌調節機能 ②各内分泌腺の位置と分泌されるホルモン ③視床下部ホルモン・下垂体ホルモンの名称、作用と相互関係 ④甲状腺と副甲状腺(上皮小体)から分泌されるホルモンの作用と分泌調節機能 ⑤副腎の構造と分泌されるホルモンの作用と分泌調節機能 ⑥脳下垂体から分泌されるホルモンの作用 ⑦男性ホルモン・女性ホルモンの合成・代謝経路 ⑧男性生殖腺、女性生殖腺の形態と機能 ⑨ビタミン、微量元素の消化吸収 ⑩糖質・タンパク質・脂質の代謝経路と相互作用を説明できる。 2)診断と検査の基本 ①ホルモンの過剰または不足がもたらす身体症状 ②血中ホルモン濃度に影響を与える因子 ③ホルモンの日内変動 ④ホルモン分泌刺激試験と抑制試験の原理と反応の型 ⑤エネルギー摂取の過剰または不足がもたらす身体症状 3)症候 ①低身長 ②甲状腺腫 ③肥満・やせ ④月経異常 4)疫学	2						2			2	2		2	
116405J	血液・造血器	3年			60時間	血液・造血器・リンパ網内系疾患の病態生理、原因、症候、臨床検査、病理の特徴を学び、診断と治療のために必要な知識を修得する。	1.造血器(骨髄、末梢血)、リンパ網、脾臓の基本構造を理解し、病態との関連を理解する。 2.貧血の分類を学び、その成因、病態、診断、治療法を理解する。 3.出血傾向や血栓症をきたす疾患、病態を理解し、診断と治療法を学ぶ。 4.白血病とその類縁疾患、骨髄増殖疾患の成因、疫学、診断、治療法を学ぶ。 5.リンパ増殖性疾患の成因、病態、診断、治療法を学ぶ。 6.血液蛋白異常をきたす疾患の病態、診断、治療法を学ぶ。 7.網内系組織の疾患の病態、診断、治療法を学ぶ。 8.輸血療法及び輸血関連検査を学ぶ。 9.がん診療に必要な統計を学ぶ。			2	2		3		2	2	1	2		2	
116406J	神経	3年			90時間	脳神経内科、脳神経外科領域における基本的な臨床能力としての知識と技能を包括的に修得する。	1.代表的な脳・神経・筋疾患の疫学、症候学、病態生理、病理を学び、診断・治療を行うための基本を修得する。 2.脳・神経領域の基本的な診断手技を修得する。 3.脳・神経領域における基本的な検査法、所見について理解する。 4.脳・神経領域における主な内科的、外科的治療法について理解する。		2						2	2	1	2	2	2	
116407J	腎・尿路	3~4年			60時間	腎・尿路・男子生殖腺疾患の病態を学び、診断、治療を行うための基本的な知識を修得する。	1.腎臓による水・電解質と酸塩基平衡の調節機能を理解する。 2.腎疾患の検査、診断、治療法を学ぶ。 3.末期腎不全、血液浄化療法、腎移植について学ぶ。 4.腎・尿路・男子生殖腺の腫瘍・性病変の検査、診断、治療法を学ぶ。 5.尿路・性器畸形、尿路の機能的異常について理解する。 6.泌尿器科手術、抗がん化学療法、内分泌療法を学ぶ。					3	2	2	2				2	2	
116416J	環境保健医学実習	3~4年			30時間	1.地域において医学・医療が関わる環境と健康について理解する。 2.地域における災害保健の課題や、島根原子力発電所の安全対策を理解する。	地域の中で医学・医療が関わる環境として災害保健の課題や、島根原子力発電所の安全対策を理解する。					2		2						3	
116124K	病理実習	3~4年			60時間	1)臨床医学、社会医学の学習ならびに診療に必要な基本的病変ならびに主要疾病の原因・病態成立機序・形態学的変化を理解する。 2)疾病および患者に関わる問題を病理学的にとらえ、解決するために、臨床的問題と病理学を結びつける態度、能力を養う。	1)病理学総論の基本的知識、思考方法を確立に身につける。 2)主要な疾病についてその原因、成り立ち、形態学的変化を病理学的に説明できる。 3)マクロおよびミクロ標本で形態学的変化を観察し、的確に記述できる。 4)記述した形態学的変化をもとに、主要な疾患の診断ができる。	2				2	2	3	2	2	2				
116418J	PBL	3~4年			90時間	診療の基本となる、症候・病態について、臓器機能的な鑑別診断から、臓器特異的な診断について、自己学習及び少人数のグループ学習を行い、過去の講義資料に加えて、教科書や参考書、各種文献、インターネットなど、さまざまなツールや手法を駆使して仮説の検証を行う。	これらの学習を通じて問題の提示、解決の能力、さらにはチーム医療につながる、コミュニケーション能力を養う。				3	3	3	2	2	3	2				
116409J	運動器	4年			30時間	運動器の変形・外傷・炎症・変性・代謝疾患・腫瘍についての病態を理解するとともに、それらの診断法、治療法の知識を習得し、選択する判断力を養う。	1.骨、関節、筋の構造と機能を知るとともに整形外科的診断法の意義を理解する。 2.頻度の高い骨折、脱臼、捻挫の病態、症状、合併症を理解する。 3.肩、肘関節の代表的疾患と外傷の診断法と治療法を理解する。 4.手の機能と病態、代表的疾患と外傷の病態と治療法を理解する。 5.股関節、膝関節、足関節の代表的な疾患、検査法、治療法を理解する。 6.スポーツ障害の代表的疾患の診断法と治療法について理解する。 7.骨・関節感染症の特徴と診断法および治療法について理解する。 8.骨・軟部腫瘍の診断法、治療法について理解する。 9.骨系統疾患、代謝疾患の特徴、診断法および治療法について理解する。 10.リハビリテーションの概念、手技を理解する。						3	2	2	2					
116410J	感覚器	4年			60時間	眼耳鼻、鼻(副鼻腔)、顔面、口腔、咽喉、喉頭、気管、頸部の形態と機能を学び、これら領域における疾患の原因・病態・診断・治療・予防について学習する。	1.眼およびその付属器の解剖を学び機能を理解する。 2.眼科的検査法と診断法を学習する。 3.白内障、緑内障、網膜硝子体疾患、その他の代表的眼疾患の病態を理解する。 4.白内障、緑内障、網膜硝子体疾患、その他の代表的眼疾患の治療法を学習する。 5.内耳、中耳、外耳、鼻副鼻腔、口腔、咽喉、喉頭、気管・頸部の機能解剖を理解する。 6.聴覚、平衡覚、嗅覚、味覚、咽下に関する検査法について基本的な理解を深める。 7.耳鼻咽喉科・頭頸部領域における疾患の病態、診断、治療について理解する。 8.耳科手術、鼻内視鏡手術、頭頸部手術について基本的な理解を深めると同時に手術支援機器について学習する。 9.喉・口腔・唾液腺・顎関節・顔面の解剖を学習し、その生理機能について理解する。 10.喉・口腔・顔面に発生する疾患の病態、診断・治療について学習する。 11.歯科口腔疾患の病態と全身および全身疾患との関連について学習する。 12.周術期等口腔機能管理(口腔ケア)による全身との関連について学習する。	2				1	3	2	2	2	1	2			
116412J	周産期・女性生殖	4年			60時間	女性生殖腺の解剖、妊娠から分娩・産褥に至るまでの生理と病態および周産期医学などの臨床医学を学ぶとともに、生殖、不妊、内分泌学および性腺の腫瘍や炎症などの臨床医学を学び、患者さんの診療ならびに疾患理解に必要な周産期学の方法論・婦人科学的方法論を包括的に修得する。	1.女性生殖腺の発生、分化および生殖生理を理解する。 2.正常周産期医学の理解に必要な基礎知識(性腺の解剖学、妊娠から分娩・産褥に至る生理学および内分泌学)を理解する。 3.異常周産期医学における主要疾患の定義、原因、診断、治療を理解する。 4.婦人科学の理解に必要な基礎知識(性腺の解剖、内分泌学、不妊症学、更年期医学、腫瘍学、婦人科学術学)を理解する。 5.母体保護法をはじめとする女性に関わる法律を学び、避妊法を含む家族計画について理解する。	2	2	2	2	1	2	2	2	1	2		2		

						R5年度 医学科 学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー (DP)) (◎=DP達成のために、特に重要な事項)																					
						医療人としての適切な判断力・行動力			コミュニケーション能力		問題解決・自己研鑽能力		知識を統合し活用する能力	臨床能力(知識・技能・態度を統合し活用する能力)		研究への志向力	グローバル化への志向力	地域医療への志向力									
時間割コード (7桁)	授業科目	履修学年	学年 前期	後期	GIO(一般目標)、学修目標	SBO(行動目標)、学修成果(到達目標)																					
118710J	臨床研究(学会発表・論文作成)	1~6年	15時間		1. 総合診療マインドを持つ医学生が、通常の臨床実習に比して、より実践的で実用的な総合診療に接することで、その責務を修得する。 2. 実臨床で活用できる、臨床疫学・統計学・EBMについての知識・技能を身につける。 3. 総合診療に関する学会発表や論文作成を行う。	1. 総合診療領域において、症例報告・研究による学会発表や論文作成をすることができる。										2		2	2	2	2	2	2	2	3	3	2